

西つがる国土強靱化地域計画

—暮らしを守り自然と共生する西つがる—

令和3年3月

西つがる3市町



(つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町)

【目次】

第1章 計画策定の趣旨・位置付け

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	3
4 計画策定の流れ	3

第2章 基本的な考え方

1 基本目標	4
2 基本的な方針	4

第3章 地域の特性及び想定するリスク

1 地域特性	5
(1) 自然的特性	5
(2) 社会経済基盤	5
(3) 人口・世帯	6
(4) 産業・雇用	8
(5) 流入・流出人口（通勤・通学、観光）	9
(6) 防災関連基盤	10
2 想定するリスクとして設定する大規模自然災害	11
(1) 地震・津波	11
(2) 風水害	12
(3) 豪雪災害	12
(4) 火山噴火	13

第4章 脆弱性評価

1 脆弱性評価の考え方	15
2 事前に備えるべき目標	15
3 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	16
4 評価結果の概要	18

第5章 強靱化の推進方針

1 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）ごとの対応方策概要（概要）	22
2 連携項目	45
3 重点項目	45

第6章 計画の推進

1 計画の推進	47
2 計画の進捗管理	47
3 計画の見直し	47

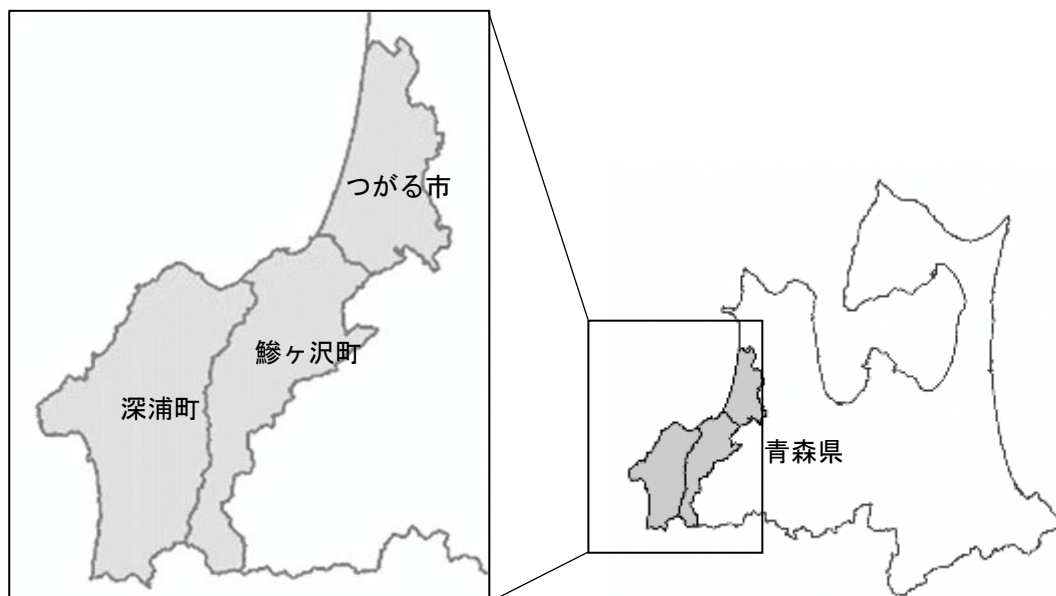
第1章 計画策定の趣旨・位置付け

1 計画策定の趣旨

我が国では、平成7年の阪神・淡路大震災や、平成23年の東日本大震災、度重なる集中豪雨による水害・土砂災害の発生など、大規模な自然災害に幾度となく見舞われており、そのたびに長期間にわたる復旧・復興を繰り返してきた。

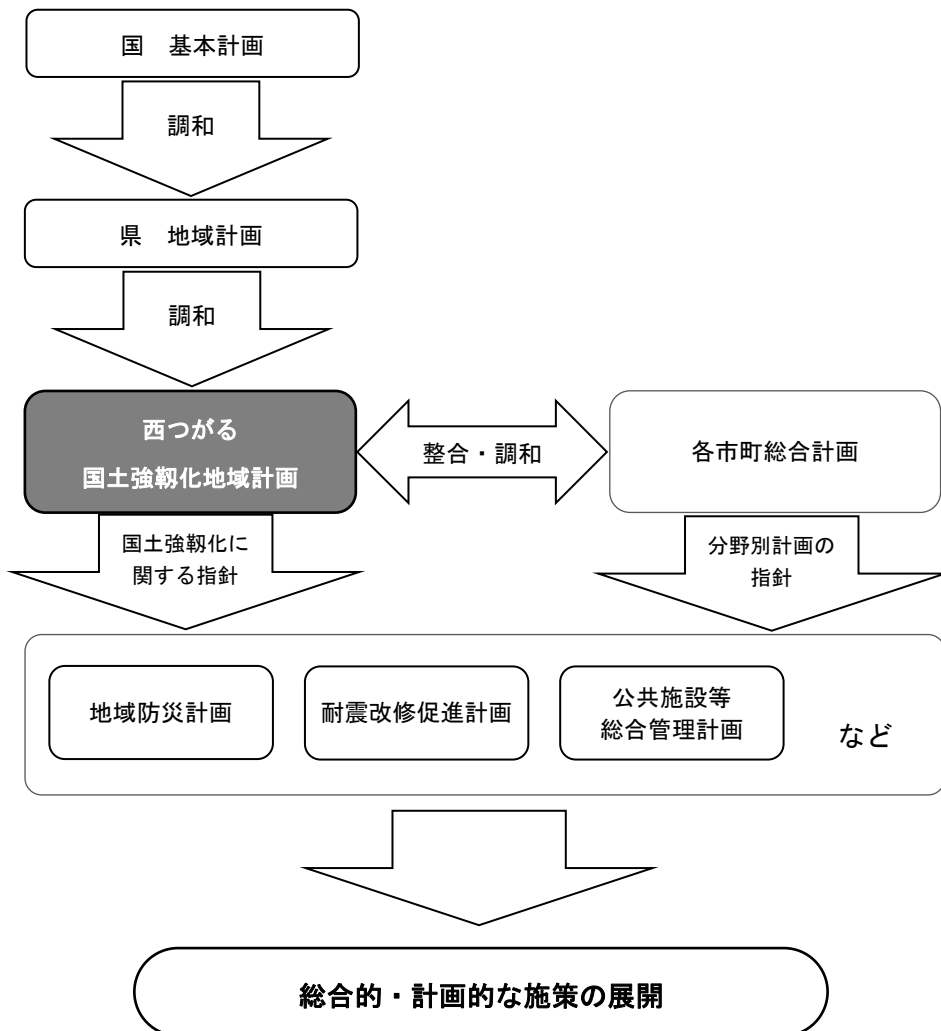
国ではそれらの教訓を踏まえて頻発する大規模自然災害等に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、計画的に実施することを目的とした「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法（以下基本法という。）」を平成25年12月に制定し、平成26年6月には同法に基づいて「国土強靱化基本計画（以下、基本計画という。）」を策定した。また、青森県では「命と暮らしを守る青森県」を目指し、平成29年3月に「青森県国土強靱化地域計画（以下、県地域計画という。）」を策定し、国土強靱化基本計画と連携した強靱な地域づくりを推進しているところである。

隣接する西つがる3市町（つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町）においては、日本海に面し、白神山地を擁するなど地形的な面や、道路・鉄道などのインフラ的な面でも共通のリスクを有している。そのため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、国や県と連携して計画的に実施し、強靱な地域づくりをより広域的に推進するべく、国土強靱化地域計画を西つがる3市町合同で策定するものである。



2 計画の位置付け

本計画は、基本法第13条に基づく国土強靱化地域計画として策定する。策定に当たっては、国の基本法、基本計画に基づいて策定された県地域計画との調和を保つものとする。



3 計画期間

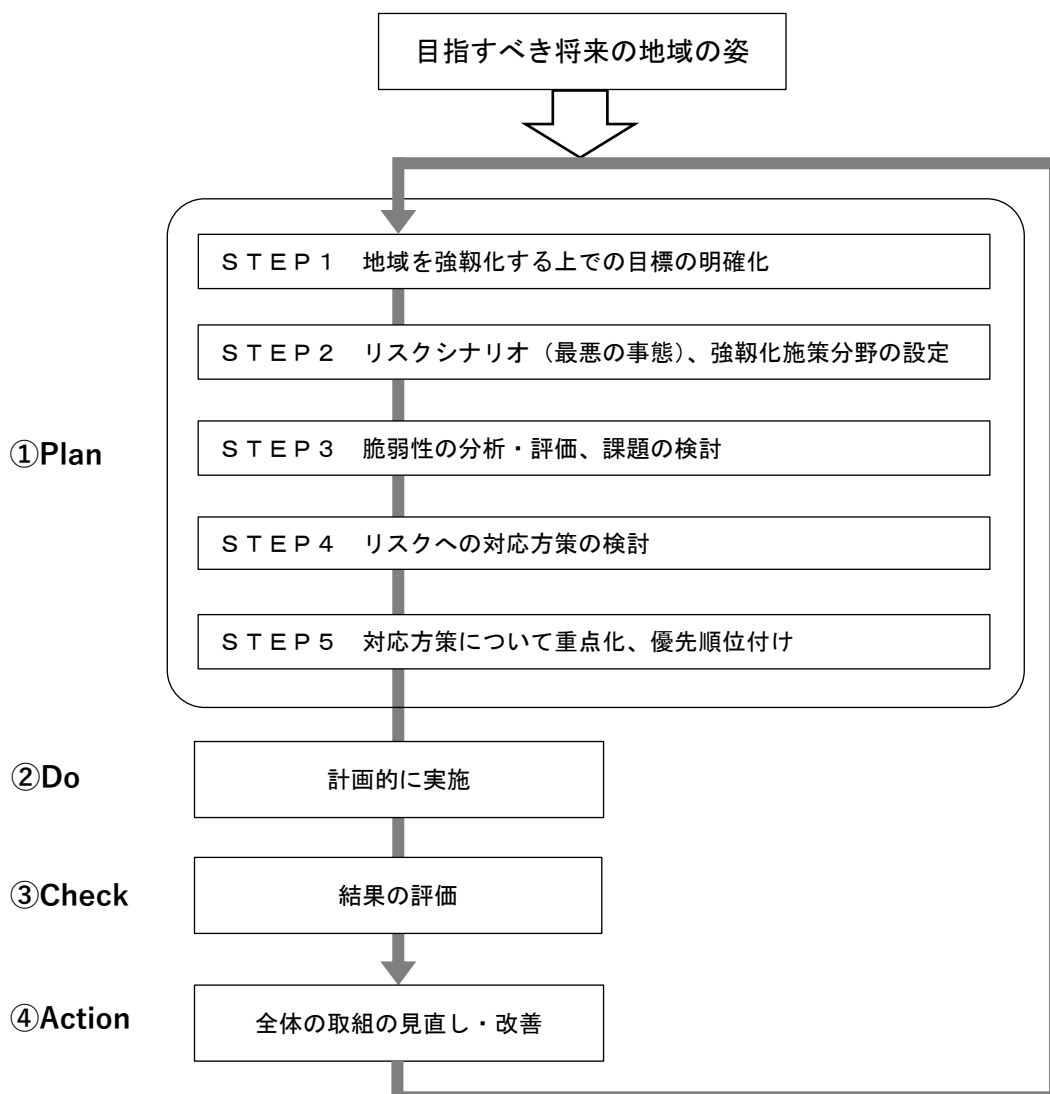
本計画の計画期間は、令和3（2021）年から令和7（2025）年までの5年間とする。

なお、計画期間内において、計画の適切な進行管理及び社会経済情勢などの変化の把握に努め、必要に応じて計画の見直しを行う。

4 計画策定の流れ

本計画は、目指すべき目標を明確にしたうえで、設定したリスクシナリオに対して脆弱性の評価を行うとともに、その結果に基づき対応方策の検討を行う。

計画策定後は、①Plan ②Do ③Check ④Actionの流れを基本としたP D C Aサイクルにより関連施策・事業の進捗状況を毎年把握し、計画全体の見直し・改善を図っていくものとする。



第2章 基本的な考え方

1 基本目標

いかなる災害が発生しようとも、以下の4項目を基本目標として、安全・安心な地域・経済社会の構築に向けた「国土強靱化」を推進する。

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 行政及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 住民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ④ 迅速な復旧・復興

2 基本的な方針

(1) 適切な施策の組み合わせ

- ① ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせること
- ② 自助・共助・公助を適切かつ効果的に組み合わせること（自助：自分で自分を助けること
共助：家族、企業や地域コミュニティで共に助け合うこと 公助：行政による救助・支援）
- ③ 非常時にのみならず平時にも有効活用できる対策とすること

(2) 効率的な施策の推進

- ① 人口減少等に起因する需要の変化等を踏まえた、効果的で効率的な施策の推進を図ること
- ② 国・県の施策、既存の社会資本、民間資金の活用を図ること

(3) 西つがる圏域の地域特性を踏まえた施策の推進

- ① 西つがるの地域特性や実情を踏まえた施策の推進を図ること
- ② 強靱化を推進する担い手が適切に活動できる環境整備に努めること
- ③ 女性、高齢者、子供、障がい者、外国人等に十分配慮して施策を講じること
- ④ 環境との調和及び景観の維持に配慮するとともに、自然との共生を図ること

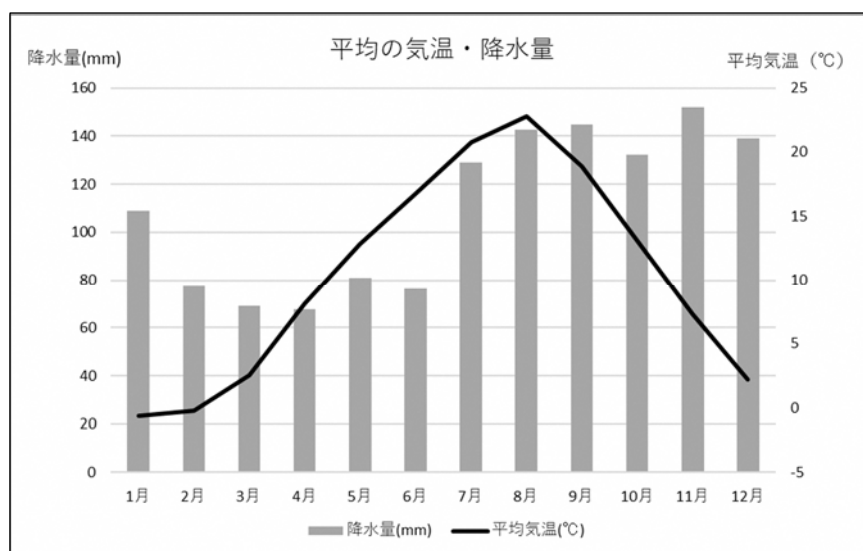
第3章 地域の特性及び想定するリスク

1 地域特性

(1) 自然的特性

西つがる圏域は、青森県の西部に位置し、南は秋田県、西は日本海、北は十三湖と接している。圏域南部は白神山地を含む国有林地帯、北部は一級河川である岩木川が流れる津軽平野が広がり、鱒ヶ沢町東部は常時観測火山である岩木山麓を擁している。

気候については、日本海の影響を受ける日本海型気候であり、沿岸部は対馬海流（暖流）が流れているため、冬季は県内では比較的温暖である。北部は積雪が多い豪雪地帯であるが、南部は積雪が少ない。



出典：気象庁の公開データ（鱒ヶ沢気象観測所）より作成

(2) 社会経済基盤

圏域の主要な道路・鉄道としては、県管理の国道101号、JR東日本の五能線があり、東は五所川原市からつがる市南部を横断し、鱒ヶ沢町・深浦町の日本海沿岸に沿って秋田県へ続く形で並走している。また、自動車専用道路である津軽自動車道が事業中であり、つがる市から鱒ヶ沢町にかけての一部区間については供用が開始されている。

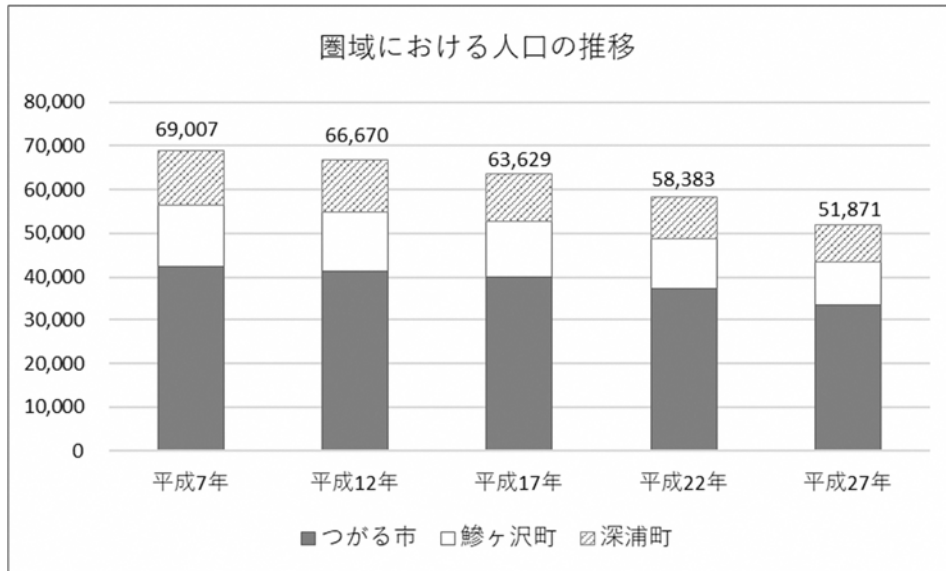
港湾は、避難港に指定されている深浦港、及び津軽港（旧七里長浜港）の2港である。

(3) 人口・世帯

【圏域人口】

西つがる圏域における平成27年の人口は51,871人で、うち6割以上をつがる市が占めている。圏域全体の人口は、平成7年から平成27年までの20年間で17,136人の減少となっており、圏域全体においては人口減少の傾向が顕著である。

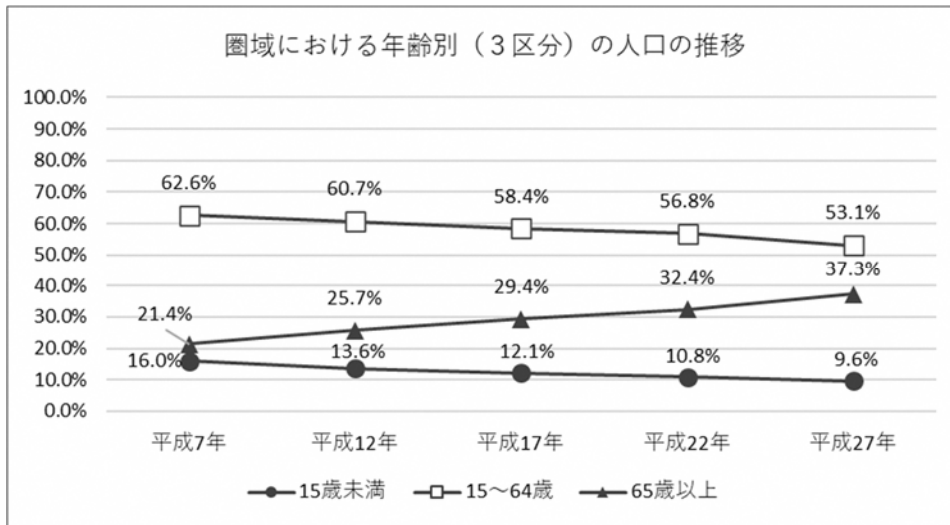
※平成7年～平成12年の値は合併前の値のため、つがる市が木造町・森田村・柏村・稲垣村・車力村の合算値、深浦町は深浦町・岩崎村の合算値を使用している。(以下同じ)



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

【圏域年齢別人口】

西つがる圏域における年齢別人口の割合は、年少人口割合（15歳未満）が9.6%、生産年齢人口割合（15～64歳）は53.1%、高齢者人口割合（65歳以上）は37.3%となっている。高齢者人口は平成7年からの20年間で15.9%も増加しており、高齢化が進行している。

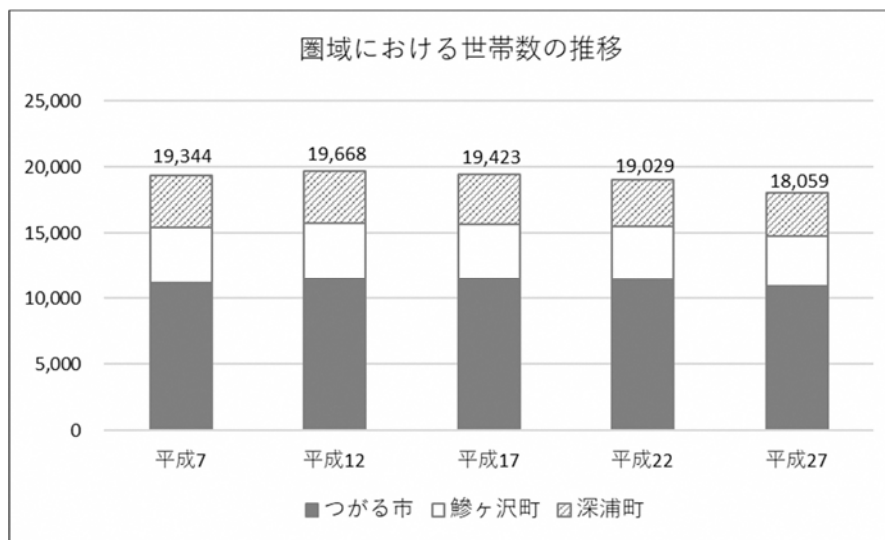


※小数点2位以下を端数処理しているため、合計は100%とはならない場合がある。(以下同じ)

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

【世帯】

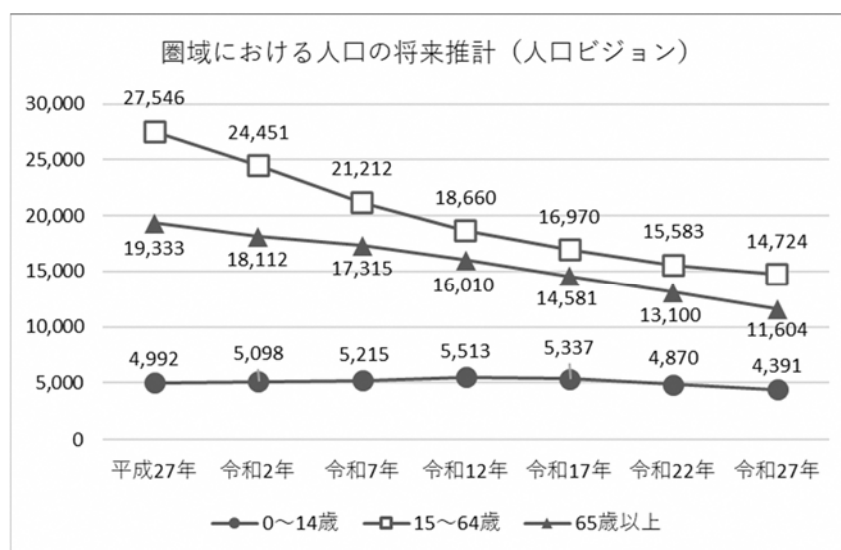
西つがる圏域における平成27年の世帯数は、18,059世帯で、うち約6割をつがる市が占めている。平成12以降は徐々に減少傾向となっている。



出典：国勢調査（総務省統計局）の一般世帯数より作成

【将来推計人口】

国立社会保障・人口問題研究所が推計した西つがる圏域における将来推計人口は、平成27年から令和27年の30年間で30,465人減と、半分以上(-58.7%)の人口となる見通しとなっている。圏域の3市町においては人口ビジョン*により、人口減少が緩やかとなる試算も公表しているが、それでも21,152人減(-40.8%)となっており、人口減少の傾向が顕著である。また、それに伴い圏域における税収の減少も予想される。地域における災害時の共助機能の維持や、限られた予算の中での防災関連施設・社会インフラの維持管理をしていくためには、計画的・中長期的な対策が重要である。



*つがる市人口ビジョン パターン3（令和2年3月）、鱒ヶ沢町人口ビジョン 将来展望（令和2年3月）、深浦町人口ビジョン 町独自推計（令和2年3月）より算出

(4) 産業・雇用

西つがる圏域における就業者数については、第3次産業が52.4%と最も多く、次いで第1次産業が27.5%、第2次産業が18.4%となっている。

圏域においては第3次産業の就業者数には及ばないものの、第1次産業も盛んであり、平野部ではメロン・スイカ・ごぼう等を中心とした農業、沿岸部ではマグロ・イカ・ヒラメ等を中心とした漁業が盛んである。一部の特産品はブランド化が推進されており、「つがりあんメロン」「鱈ヶ沢ヒラメ」「ふかうら雪人参」「深浦マグロ」等が特に有名である。

※分類

第1次産業：農業・林業・漁業

第2次産業：工業・採石業・砂利採取業・建設業・製造業

第3次産業：上記以外の産業のうち、分類不能の産業を除いたもの

圏域における産業大分類別就業者数及び構成比

産業分類	つがる市		鱈ヶ沢町		深浦町		圏域合計	
	就業人数 (人)	構成比	就業人数 (人)	構成比	就業人数 (人)	構成比	就業人数 (人)	構成比
第1次産業	4,681	29.5%	1,050	22.5%	920	25.1%	6,651	27.5%
第2次産業	2,872	18.1%	839	18.0%	743	20.2%	4,454	18.4%
第3次産業	7,911	49.8%	2,777	59.4%	2,005	54.6%	12,693	52.4%
分類不能	417	2.6%	6	0.1%	2	0.1%	425	1.8%
総就業者数	15,881	—	4,672	—	3,670	—	24,223	—

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

(5) 流入・流出口（通勤・通学、観光）

西つがる圏域では五所川原市からの流入・流出が多く、圏域外への就業者・通学者 6,143 人のうち五所川原市が 3,468 人、圏域外からの就業者・通学者 3,697 人のうち五所川原市が 2,190 人となっている。圏域内の流入・流出は鱒ヶ沢町からつがる市への流出が最も多く、411 名がつがる市へ従業・通学している。

また、圏域内では白神山地や十二湖、五能線などの観光資源や、特産品である農産物・海産物を販売する道の駅・海の駅があり、毎年 230～250 万人ほどの観光客が訪れている。

圏域内他市町村への従業者・通学者

従業・通学地 \ 常住地	つがる市		鱒ヶ沢		深浦町	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
つがる市	0	—	411	72.4%	63	19.9%
鱒ヶ沢町	326	86.7%	0	—	254	80.1%
深浦町	50	13.3%	157	27.6%	0	—
合計	376	—	568	—	317	—

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

圏域外からの従業者・通学者数

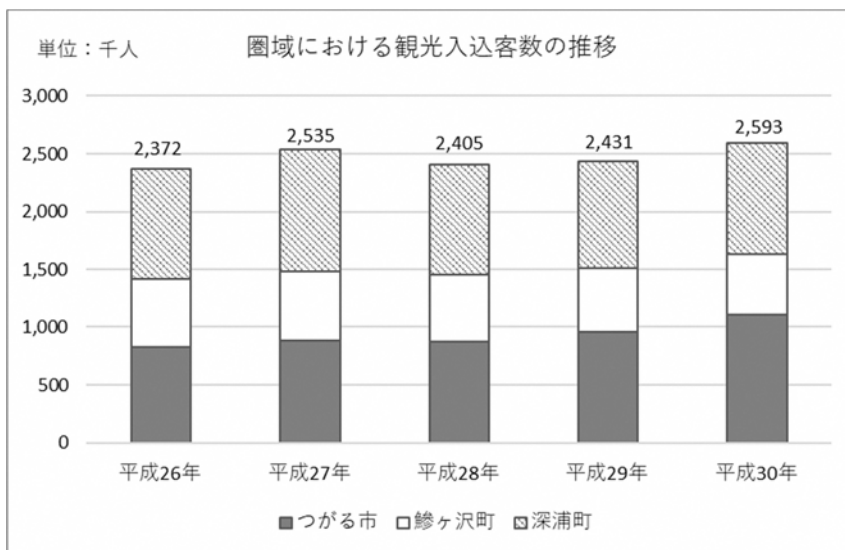
従業・通学地 \ 常住地	つがる市		鱒ヶ沢町		深浦町		圏域合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
県内	3,205	99.3%	388	99.0%	58	75.3%	3,651	98.8%
（県内うち五所川原市）	1,994	61.8%	175	44.6%	21	27.3%	2,190	59.2%
県外	23	0.7%	4	1.0%	19	24.7%	46	1.2%
合計	3,228	—	392	—	77	—	3,697	—

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

圏域外への従業者・通学者数

従業・通学地 \ 常住地	つがる市		鱒ヶ沢町		深浦町		圏域合計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
県内	4,808	96.6%	846	94.7%	178	65.4%	5,832	94.9%
（県内うち五所川原市）	2,978	59.8%	397	44.5%	93	34.2%	3,468	56.5%
県外	128	2.6%	44	4.9%	93	34.2%	265	4.3%
不詳・外国	42	0.8%	3	0.3%	1	0.4%	46	0.7%
合計	4,978	—	893	—	272	—	6,143	—

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成



出典：平成30年青森県観光入込客統計より作成

(6) 防災関連基盤

【消防団】

西つがる圏域における消防団員数は下記のとおりとなっている。定員に対する充足率は、全国平均の90.8%（令和元年10月1日現在）と比較して概ね高い水準となっている。

消防団員数及び充足率

令和2年4月1日現在

	①条例定数 (人)	②消防団実員数 (人)	充足率(②/①) (%)
つがる市	1,180	1,128	95.6
鱒ヶ沢町	385	357	92.7
深浦町	450	403	89.6

出典：各市町消防年報

【自主防災組織】

西つがる圏域における自主防災組織数及び隊員数は下記のとおりとなっている。

自主防災組織数、隊員数

令和2年4月1日現在

	組織数	隊員数
つがる市	23	1,983
鱒ヶ沢町	38	546
深浦町	31	464

2 想定するリスクとして設定する大規模自然災害

(1) 地震・津波

○これまでの主な地震・津波被害

西つがる圏域は、太平洋地域に比べ被害をもたらす大きな地震の発生は少ないが、昭和58年の日本海中部地震では、死者を含む大きな被害が発生している。

これまでの主な地震・津波被害

発生年月日及び種類	災害概要
昭和43年5月16日 十勝沖地震	マグニチュード9.5 震度3：深浦町深浦 西津軽郡全体で家屋被害21,300千円
昭和58年5月26日 日本海中部地震	マグニチュード7.7 震度5：深浦町深浦 木造町、森田村、柏村、稲垣村、車力村：被害総額140億円 鱈ヶ沢町：死者3名、被害総額83億円 深浦町：死者2名、被害総額63億円
平成23年3月11日 東日本大震災	マグニチュード9.0 震度4：つがる市木造ほか 震度3：鱈ヶ沢本町ほか、深浦町深浦ほか

出典：青森県HP「地震総覧」、気象庁HP観測・解析データ、各市町地域防災計画より作成

○青森県地震・津波被害想定調査

青森県では、平成24年度から平成25年度および平成27年度に青森県周辺で発生し得る最大級の地震による被害想定調査を実施している。西つがる圏域においては、日本海側海溝型地震により、死者数5,000人を超える大きな被害が発生することが予測されていることから、今後このような地震・津波が起こる可能性があることを想定し、減災・防災対策に取り組むことが重要である。

名称 (調査年度)	太平洋側海溝型地震 (H24・25)	日本海側海溝型地震 (H27)	内陸直下型地震 (H24・25)
Mw	9.0	7.9	6.7
考え方	昭和43年十勝沖地震及び平成23年東北地方太平洋沖地震の震源域を考慮し、青森県にもっとも大きな地震・津波の被害をもたらす震源モデルを設定	「日本海における大規模地震に関する調査検討会(国土交通省)」で設定された震源モデルのうち、「平成26年度津波浸水想定調査(青森県)」において採用した4つの断層を震源モデルとして設定	「青森湾西岸断層帯の活動性及び活動履歴調査(産業総合研究[2009])」により入内断層北に海底活断層が推定されたことから、震源モデルを設定
想定被害の概要	震度最大7 死者数 約25,000人	最大震度6強 死者数 約6,900人	最大震度7 死者数 約2,900人

出典：青森県国土強靱化地域計画

西つがる圏域の被害想定（日本海側海溝型地震（H27））

	人的被害（人）		建物被害（棟）		避難者数（人） （1日後）
	死者数	負傷者数	全壊棟数	半壊棟数	
つがる市	70	690	1,100	4,400	2,400
鱒ヶ沢町	1,900	530	1,100	1,800	4,400
深浦町	3,700	660	2,500	2,800	6,000
圏域 計	5,670	1,880	4,700	9,000	12,800

出典：青森県地震・津波被害想定調査（日本海側海溝型地震）

(2) 風水害

台風や大雨・暴風による住家の床上、床下浸水、土砂災害等がたびたび発生している。特に、平成3年に発生した台風19号では農産物被害を中心に甚大な被害が発生した。

近年における主な災害

発生年月日	市町村名	種別	被害の概要
平成2年11月	つがる市	風水害	住家113棟、農業用ハウス39棟 被害総額8,522万円
平成3年9月	つがる市	風害	台風19号 柏 村：リンゴ園 被害総額4億7,198万円 車力村：ながいも、ながねぎ等農産物被害 被害総額765万円
			鱒ヶ沢町
	深浦町	風害	台風19号深浦町災害対策本部設置
平成21年7月	深浦町	大雨	大雨による被害続出 被害総額2億5,000万円
平成24年7月	深浦町	大雨	大雨による被害続出 被害総額5,300万円
平成24年9月	深浦町	大雨	大雨による被害続出 被害総額1,600万円
平成25年9月	鱒ヶ沢町	水害	台風18号による大雨で各地土砂災害等が発生 被害総額約7億円
平成26年8月	深浦町	大雨	大雨による床上浸水10棟、床下浸水13棟 被害総額2億2,000万円
平成29年4月	深浦町	風害	暴風による住宅一部破損2棟、岩崎中学校校舎屋上破損 被害総額1,000万円

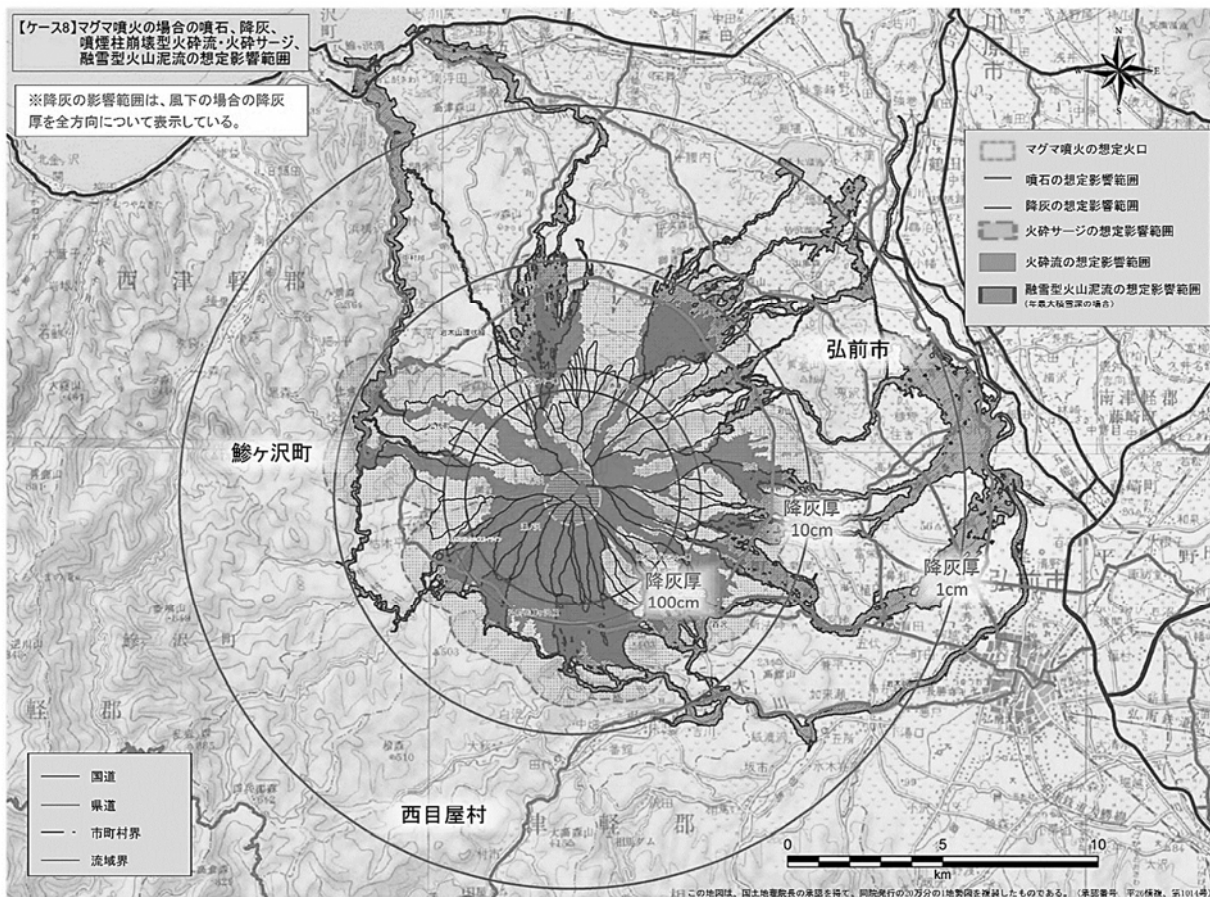
出典：各市町地域防災計画より作成

(3) 豪雪災害

深浦町・鱒ヶ沢町の日本海沿岸部は、県内では比較的降雪が少なく気候もゆるやかな地域であるが、つがる市及び鱒ヶ沢の岩木山麓に近い地域は積雪が多く、特につがる市は強い西風による地吹雪のため交通が途絶することがあるなど、住民生活に影響を及ぼしており、災害時に地域交通ネットワークが分断する事態が起きないように対策が必要である。

(4) 火山噴火

青森県内の活火山（概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山）として選定された岩木山、十和田、八甲田山及び恐山のうち、恐山以外については、火山噴火予知連絡会により常時観測火山に選定され、常時観測を行っている。なお、鱒ヶ沢町は、岩木山が噴火した場合の噴石、火砕サージ、火砕流等が到達する想定となっている。また、つがる市は十和田が積雪期に大規模噴火した場合の融雪型火山泥流が到達する想定となっている。



出典：岩木山火山噴火緊急減災対策砂防計画 噴火シナリオケース8（青森県河川砂防課）

十和田火山が積雪期に大規模噴火した場合発生する融雪型火山泥流の影響範囲



出典：十和田火山災害想定影響範囲図（十和田火山防災協議会）

第4章 脆弱性評価

1 脆弱性評価の考え方

大規模自然災害等による被害を回避するための対策（施策）や、社会経済システムの現状のどこに問題があるかについて把握するため、「脆弱性評価」を行った。

○脆弱性評価の実施手順

- ① 対象とする大規模自然災害等に対して、事前に備えるべき目標を設定
- ② 目標の妨げとなる事態として、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）34項目を設定
- ③ 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を回避するための施策を抽出し、その達成度や進捗を把握し、現状の脆弱性を総合的に分析・評価
 - ・現状で把握できるデータや施策の進捗状況等を踏まえて分析・評価を行った。
 - ・施策の達成度を示す「重要業績評価指標（KPI）」を参考値として活用した。

2 事前に備えるべき目標

基本目標を達成するために必要となる、「事前に備えるべき目標」を次のとおり設定した。

いかなる大規模自然災害等が発生しようとも

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること
- ③ 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること
- ④ 経済活動を機能不全に陥らせないこと
- ⑤ 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること
- ⑥ 重大な二次災害を発生させないこと
- ⑦ 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること

3 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）

※各市町に該当するリスクシナリオは「○」、該当しないもの（地理的な面や地域特性から対象となる設備・施設がない等）は「-」で表記している。

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態 (リスクシナリオ)		つがる市	鯨ヶ沢町	深浦町
1 人命の保護が最大限図られること	1-1	地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	○	○	○
	1-2	大規模津波等による多数の死傷者の発生	○	○	○
	1-3	異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫	○	○	○
	1-4	火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生	○	○	○
	1-5	暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生	○	○	○
	1-6	情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生	○	○	○
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	○	○	○
	2-2	多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	○	○	○
	2-3	自衛隊、警察、消防、海保等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態	○	○	○
	2-4	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	○	○	○
	2-5	想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者(県外からの来訪客等)への水・食料等の供給不足	○	○	○
	2-6	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	○	○	○
	2-7	被災地における疫病・感染症等の大規模発生	○	○	○
3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること	3-1	行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下	○	○	○
	3-2	信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	○	○	○
	3-3	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	○	○	○

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態 (リスクシナリオ)		つがる市	鯉ヶ沢町	深浦町
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと	4-1	サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞	○	○	○
	4-2	社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止	○	○	○
	4-3	基幹的交通ネットワーク（陸上・海上）の機能停止	○	○	○
	4-4	食料等の安定供給の停滞	○	○	○
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること	5-1	電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止	○	○	○
	5-2	上水道等の長期間にわたる機能停止	○	○	○
	5-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	○	○	○
	5-4	地域交通ネットワークが分断する事態	○	○	○
6 重大な二次災害を発生させないこと	6-1	ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	○	○	○
	6-2	有害物質の大規模流出・拡散	○	○	○
	6-3	農地・森林等の荒廃による被害の拡大	○	○	○
	6-4	風評被害等による地域経済等への甚大な影響	○	○	○
7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	7-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	○	○	○
	7-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	○	○	○
	7-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	○	○	○
	7-4	鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態	○	○	○

4 評価結果の概要

脆弱性評価結果の概要は以下のとおりである。

なお、市町ごとの評価結果の詳細は別紙「付属資料」に取りまとめている。

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)	脆弱性評価(強靱化に向けての課題)の概要
目標1 人命の保護が最大限図られること	1-1 地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅・病院・学校等の耐震化が必要 ○公共建築物・インフラ施設等の統廃合も含めた中長期的な管理計画の検討が必要 ○避難路・緊急輸送路の確保が必要 ○住宅用火災警報器の設置率の向上が必要 ○消防設備・装備の拡充や、他地域の消防本部との連携強化等による消防力の強化が必要 ○自主防災組織、消防団の人材確保が必要 ○指定避難所・指定緊急避難場所の確保・充実が必要 ○避難行動要支援者の支援体制の確立・福祉避難所の拡充が必要 ○防災訓練の推進、防災意識の啓発が必要
	1-2 大規模津波等による多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○漁港海岸施設の老朽化調査や長寿命化計画の策定が必要 ○定期的な津波避難計画やハザードマップの見直しが必要 ○指定避難所・指定緊急避難場所の確保・充実が必要 ○避難行動要支援者の支援体制の確立・福祉避難所の拡充が必要 ○防災訓練の推進、防災意識の啓発が必要 ○地区自主防災組織ごとの地区防災計画の策定が必要 ○津波浸水想定区域の普及・啓発が必要
	1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫	<ul style="list-style-type: none"> ○河川改修等の治水対策が必要 ○ため池・農業水利施設等の防災対策が必要 ○洪水浸水想定区域の新たな指定・見直しがあった河川については洪水ハザードマップの改訂が必要 ○避難勧告等発令体制・情報伝達手段の整備が必要 ○避難行動要支援者の支援体制の確立・福祉避難所の拡充が必要 ○防災訓練の推進、防災意識の啓発が必要 ○消防設備・装備の拡充や、他地域の消防本部との連携強化等による消防力の強化が必要 ○地区自主防災組織ごとの地区防災計画の策定が必要
	1-4 火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり県土の脆弱性が高まる事態	<ul style="list-style-type: none"> ○住民への土砂災害ハザードマップの周知、及び土砂災害警戒情報についての理解促進が必要 ○指定避難所・指定緊急避難場所の確保・充実が必要 ○避難行動要支援者の支援体制の確立が必要 ○消防設備・装備の拡充や、他地域の消防本部との連携強化等による消防力の強化が必要 ○火山防災マップの作成等による、住民や登山者等に対する防災意識の向上が必要(鯨ヶ沢町) ○自主防災組織、消防団の人材確保が必要
	1-5 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○地吹雪等による視距不良や交通障害に対する対策が必要(つがる市) ○除排雪業者の確保が必要 ○雪片付けのできない高齢者世帯の増加 ○冬季の防災意識の啓発が必要

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)	脆弱性評価(強靱化に向けての課題)の概要
目標1 人命の保護が最大限図られること	1-6 情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○県・市町村・防災関係機関等との連絡体制の強化が必要 ○住民への避難勧告等の情報伝達手段の強化が必要 ○市町管理施設において通信利用環境の整備が必要 ○各学校の危機管理マニュアルの作成・見直しが必要
目標2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	<ul style="list-style-type: none"> ○住民への家庭内備蓄についての普及啓発が必要 ○緊急輸送道路の復旧、代替の交通手段の確保体制の整備が必要 ○食料、飲料水、燃料、医薬品等の供給体制の確保が必要 ○道路・水道・港湾施設等の機能強化・老朽化対策の推進が必要 ○災害応援の円滑な受入体制の強化が必要 ○人工呼吸器を使用している難病患者や慢性特定疾病患者等が継続治療するための情報共有体制の確保が必要
	2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生	<ul style="list-style-type: none"> ○道路、橋梁等の通行確保対策や緊急輸送道路等の整備、代替手段の確保が必要 ○孤立集落発生時の支援体制の確保が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要
	2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態	<ul style="list-style-type: none"> ○庁舎が津波浸水想定区域内であるため、災害対策本部の高出への設置が必要(深浦町) ○災害対策本部機能の強化・充実が必要 ○防災関係機関との連携強化や救助活動の体制強化が必要 ○災害応援の円滑な受入体制の強化が必要 ○自主防災組織、消防団の人材確保が必要 ○防災訓練の推進、防災意識の啓発が必要
	2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急車両や医療施設、防災ヘリコプターへの燃料供給の確保が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要
	2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者(県外からの来訪客等)への水・食料等の供給不足	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客等に対する広域避難の強化が必要 ○食料、飲料水、燃料、医薬品等の供給体制の確保が必要 ○外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化が必要
	2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートへの途絶による医療機能の麻痺	<ul style="list-style-type: none"> ○病院施設・社会福祉施設等の耐震化・老朽化対策が必要 ○県や医療機関、医師会との連携強化が必要 ○被災者台帳作成の事前準備の促進が必要 ○避難生活における中長期的な心のケア・健康管理・男女のニーズへの配慮を行う体制の構築が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要
	2-7 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所における衛生環境維持のための体制構築が必要 ○予防接種の促進や、新型コロナウイルスその他の感染症に対応した避難所運営体制の構築が必要 ○下水道施設の耐震化・老朽化対策が必要

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)	脆弱性評価(強靱化に向けての課題)の概要
目標3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること	3-1 行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下	○役場庁舎が使用不能となる場合に備え、代替施設の確保や、代替庁舎災害対策本部機能の移転訓練の実施が必要 ○非常用電源の整備や、非常通信の体制強化が必要 ○業務継続体制の整備が必要 ○広域連携体制・応援受入体制の構築が必要
	3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発	○信号機の非常用電源対策や交通整理体制の構築が必要(警察本部)
	3-3 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	○防災情報ネットワークの操作の習熟、非常通信体制の強化が必要 ○電気通信・放送事業者の災害予防措置が必要 ○電力・ガス供給事業者の災害予防措置が必要
目標4 経済活動を機能不全に陥らせないこと	4-1 サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞	○事業継続計画(BCP)策定の必要性について普及啓発が必要 ○迅速な道路啓開による交通の確保が必要 ○物流を担う企業・団体との協力体制の強化が必要 ○被災証明を迅速に発行できる体制の整備が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要
	4-2 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止	○電力・ガス供給事業者の災害予防措置が必要 ○事業継続計画(BCP)策定の必要性について普及啓発が必要 ○迅速な道路啓開による交通の確保が必要 ○道路障害物の迅速な除去による交通の確保が必要
	4-3 基幹的交通ネットワーク(陸上・海上・航空)の機能停止	○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要 ○迅速な道路啓開による交通の確保が必要 ○漁港・港湾施設の耐震化・老朽化対策が必要
	4-4 食料等の安定供給の停滞	○被災した農業者・漁業者への融資制度の情報提供や迅速手続実施体制の整備が必要 ○農業者・漁業者の担い手育成による安定した生産体制の確保が必要 ○農業・水産施設の老朽化対策が必要
目標5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること	5-1 電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止	○電力・ガス供給事業者の災害予防措置が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要 ○燃料供給体制の構築が必要 ○再生可能エネルギーの導入促進が必要 ○迅速な道路啓開による交通の確保が必要
	5-2 水道等の長期間にわたる機能停止	○水道施設の耐震化・老朽化対策が必要 ○水道事業者の事業継続計画(BCP)の策定・訓練実施が必要
	5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	○下水道施設の耐震化・老朽化対策が必要 ○避難所におけるトイレ機能の確保が必要 ○単独処理浄化槽から合併浄化槽への転換の促進が必要
	5-4 地域交通ネットワークが分断する事態	○災害時の交通手段の確保について、3市町の連携した取組が必要 ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策が必要 ○迅速な道路啓開による交通の確保が必要 ○鉄道事業者との情報共有が必要

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)	脆弱性評価(強靱化に向けての課題)の概要
目標6 重大な二次災害を発生させないこと	6-1 ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生	<ul style="list-style-type: none"> ○ため池・調整池の耐震化・老朽化対策が必要 ○ため池ハザードマップの整備・推進が必要 ○砂防関係施設等の整備・老朽化対策が必要 ○河道閉塞(天然ダム)が発生した場合の連絡体制の整備等の対策が必要
	6-2 有害物質の大規模流出・拡散	<ul style="list-style-type: none"> ○有害物質取扱施設に対する保安体制の整備促進が必要 ○坑廃水処理関係施設の防災機能の強化が必要 ○有害物質の流出・拡散時の迅速な情報把握及び早期対応体制の構築が必要
	6-3 農地・森林等の荒廃による被害の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○担い手への農地集積等による農地利用の最適化が必要 ○森林整備の必要性について普及啓発活動の強化が必要 ○農業・水産施設の老朽化対策が必要 ○森林の計画的な保全管理が必要
	6-4 風評被害等による地域経済等への甚大な影響	<ul style="list-style-type: none"> ○正確かつ速やかな情報発信を行う体制の構築が必要 ○安全・安心な生産システムの構築が必要 ○風評被害根絶のため、情報発信・連携体制の平時からの構築が必要
目標7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	7-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	<ul style="list-style-type: none"> ○災害廃棄物処理計画の策定及び処理体制の整備が必要 ○家庭系災害廃棄物や農林水産業に係る災害廃棄物の処理に関連する事業者・団体との連携体制の強化が必要
	7-2 道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態	<ul style="list-style-type: none"> ○防災ボランティア・災害応援の受入体制の構築が必要 ○自主防災組織、消防団の人材確保が必要 ○被害認定調査等の迅速な実施体制の確保が必要
	7-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	<ul style="list-style-type: none"> ○応急仮設住宅の供給体制の確保が必要 ○地域コミュニティの強化が必要 ○消防団の人材確保が必要
	7-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策 ○代替交通・輸送手段の関連事業者との連携体制の確立が必要

第5章 強靱化の推進方針

1 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）ごとの対応方策（概要）

前節の脆弱性評価（強靱化に向けての課題）の結果を踏まえた圏域3市町における強靱化の推進方針は以下のとおりである。

なお、市町毎の強靱化の推進方針の詳細は別紙「付属資料」に取りまとめている。

対応方策一覧

事前に備えるべき目標			
1 人命の保護が最大限図られること			
リスクシナリオ			
1-1 地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
地震等による建築物の倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生を防ぐため、建築物の耐震化や老朽化対策の推進、幹線道路や緊急輸送道路等の整備・機能強化を図るとともに、住民の避難場所の確保や避難行動要支援者の支援体制構築、消防団の充実、自主防災組織の設立・活性化支援等、空き家対策、地域防災力の向上を図る。			
【住宅・病院・学校等の耐震化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
住宅の耐震化	○	○	○
大規模建築物の耐震化	○	○	○
公営住宅の耐震化・老朽化対策	○	○	○
病院施設の耐震化	○	○	○
社会福祉施設等の耐震化	○	○	○
公立学校施設等の耐震化・老朽化対策	○	○	○
私立学校（児童福祉施設）の耐震化	○	○	○
建築物等からの二次災害防止対策	○	○	○
ブロック塀等の安全対策	○	○	○
学校施設等の非構造部材の耐震化	○	○	○
文化財の防災対策の推進	○	○	○
【公共建築物・防災施設等の耐震化・老朽化対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○
役場庁舎、消防本部等の耐震化・老朽化対策	○	○	○
港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○
ため池・調整池施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○
【市街地の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
都市公園における防災対策	○	○	○
幹線街路の整備	○	○	○

【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備 ※県・事業者が主体の取組	○	○	○
【空き家対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
空き家対策	○	○	○
【防火対策・消防力強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防火対策	○	○	○
消防力の強化	○	○	○
消防団の充実	○	○	○
防災ヘリコプター等の活動の確保 ※県が主体の取組	○	○	○
【避難所の指定・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
指定緊急避難場所及び指定避難所の指定	○	○	○
福祉避難所の指定・協定締結	○	○	○
防災公共の推進	○	○	○
福祉施設・学校施設等の安全対策	○	○	○
【避難行動支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難行動要支援者名簿の作成	○	○	○
避難行動要支援者名簿の活用	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
自主防災組織の設立・活性化支援	○	○	○
防災意識の啓発	○	○	○
防災訓練の推進	○	○	○
地区防災計画策定の推進	○	○	○

事前に備えるべき目標				
1 人命の保護が最大限図られること				
リスクシナリオ				
1-2 大規模津波等による多数の死傷者の発生				
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要				
大規模津波等による多数の死傷者の発生を防ぐため、津波防災施設等の整備や老朽化対策を推進するとともに、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、避難行動要支援者の支援体制の強化、救助活動を実施する消防力の向上、ハザードマップによる住民の防災意識の向上を図る。				
【津波防災施設の整備】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
津波防災施設の整備	※県が主体の取組	—	○	○
海岸陸間の管理体制の整備	※県が主体の取組	—	○	○
【河川・海岸施設の耐震化・老朽化対策】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
河川関連施設の耐震化・老朽化対策	※県が主体の取組	○	○	○
【警戒避難体制の整備】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
津波ハザードマップ及び津波避難計画の改訂		○	○	○
漁船避難ルールづくりの促進		○	○	○
【避難場所の指定・確保】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
指定緊急避難場所及び指定避難所の指定（再掲）		○	○	○
福祉避難所の指定・協定締結（再掲）		○	○	○
防災公共の推進（再掲）		○	○	○
福祉施設・学校施設等の安全対策（再掲）		○	○	○
都市公園における防災対策（再掲）		○	○	○
【避難行動支援】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難行動要支援者名簿の作成（再掲）		○	○	○
避難行動要支援者名簿の活用（再掲）		○	○	○
【消防力の強化】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
消防力の強化（再掲）		○	○	○
消防団の充実（再掲）		○	○	○
消防団員の安全確保		○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
自主防災組織の設立・活性化支援（再掲）		○	○	○
防災意識の啓発（再掲）		○	○	○
防災訓練の推進（再掲）		○	○	○
地区防災計画策定の推進（再掲）		○	○	○
【津波防災地域づくりの推進】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
津波防災地域づくりの推進		○	○	○

事前に備えるべき目標			
1 人命の保護が最大限図られること			
リスクシナリオ			
1-3 異常気象等による広域的かつ長期的な市街地の浸水や河川の大規模氾濫			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
広域的かつ長期的な市街地等の浸水や河川の大規模氾濫による被害の発生を防ぐため、河川・ダム施設・ため池等の防災対策の推進、警戒・避難体制の整備や住民の避難場所の確保、救助活動を実施する消防力の向上、ハザードマップによる防災意識の向上等を図る。			
【河川改修等の治水対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
河川改修等の治水対策	○	○	○
【河川・ダム施設等の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
河川関連施設の耐震化・老朽化対策 ※県が主体の取組	○	○	○
内水危険箇所の被害防止対策	—	○	○
ため池・調整池の防災対策	○	○	○
農業水利施設の防災対策・老朽化対策	○	○	○
【警戒避難体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
洪水ハザードマップの作成	○	○	○
内水ハザードマップの作成	—	○	○
高潮浸水想定区域の指定 ※県が主体の取組	—	—	○
避難勧告等発令体制の整備	○	○	○
避難勧告等の発令基準の見直し	○	○	○
住民等への情報伝達手段の多様化	○	○	○
県・市・町・防災関係機関における情報伝達	○	○	○
【避難場所の指定・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
指定緊急避難場所及び指定避難所の指定（再掲）	○	○	○
福祉避難所の指定・協定締結（再掲）	○	○	○
防災公共の推進（再掲）	○	○	○
福祉施設・学校施設等の安全対策（再掲）	○	○	○
都市公園における防災対策（再掲）	○	○	○
【避難行動支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難行動要支援者名簿の作成（再掲）	○	○	○
避難行動要支援者名簿の活用（再掲）	○	○	○
【消防力の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
消防力の強化（再掲）	○	○	○
消防団の充実（再掲）	○	○	○

【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
水防災意識社会再構築ビジョンの取組	○	○	—
防災意識の啓発（再掲）	○	○	○
地区防災計画策定の推進（再掲）	○	○	○
水防団の充実強化 ※県が主体の取組	—	—	○

事前に備えるべき目標			
1 人命の保護が最大限図られること			
リスクシナリオ			
1-4 火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
火山噴火や土砂災害等による多数の死傷者の発生及び県土の脆弱性が高まる事態を防ぐため、警戒避難体制の整備や登山者等の安全対策の推進、避難場所の確保を推進するとともに、ハザードマップによる住民の防災意識の向上等を図る。			
【警戒避難体制の整備（土砂災害）】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
土砂災害ハザードマップの作成・公表	○	○	○
避難勧告等発令及び自主避難のための情報提供	○	○	○
【土砂災害対策施設の整備・老朽化対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
砂防関係施設の整備 ※県が主体の取組	○	○	○
砂防関係施設の老朽化対策 ※県が主体の取組	○	○	○
【農山村地域における防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農山村地域における防災対策	○	○	○
ため池・調整池の防災対策（再掲）	○	○	○
【警戒避難体制の整備（火山噴火）】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
十和田噴火警戒態勢の整備	○	—	—
岩木山噴火警戒態勢の整備	—	○	—
【登山者等の安全対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
登山者等の安全対策	—	○	○
【避難場所の指定・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
指定緊急避難場所及び指定避難所の指定（再掲）	○	○	○
福祉避難所の指定・協定締結（再掲）	○	○	○
防災公共の推進（再掲）	○	○	○
福祉施設・学校施設等の安全対策（再掲）	○	○	○
都市公園における防災対策（再掲）	○	○	○
情報通信利用環境の強化	○	○	○

【避難行動支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難行動要支援者名簿の作成（再掲）	○	○	○
避難行動要支援者名簿の活用（再掲）	○	○	○
【消防力の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
消防力の強化（再掲）	○	○	○
消防団の充実（再掲）	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
土砂災害に対する防災意識の啓発	○	○	○
火山に対する防災意識の啓発	—	○	—
自主防災組織の設立・活性化支援（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
1 人命の保護が最大限図られること			
リスクシナリオ			
1-5 暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
暴風雪や豪雪による重大事故や交通途絶等に伴う多数の死傷者の発生を防ぐため、防雪施設の整備や除排雪体制の強化や、代替え交通手段の確保を推進するとともに、広報・ホームページによる冬季の防災意識の啓発を図る。			
【防雪施設の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防雪施設の整備	○	○	○
【道路交通の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
除排雪体制の強化	○	○	○
立往生車両の未然防止	※県が主体の取組	○	○
【代替交通手段の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
代替交通手段の確保	○	○	○
【情報通信の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
情報通信利用環境の強化（再掲）	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
冬季の防災意識の啓発	○	○	○

事前に備えるべき目標			
1 人命の保護が最大限図られること			
リスクシナリオ			
1-6 情報伝達の不備、麻痺、長期停止や防災意識の低さ等による避難行動の遅れ等に伴う多数の死傷者の発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
情報伝達の不備等に起因した避難行動の遅れ等による多数の死傷者の発生を防ぐため、行政機関における情報連絡体制や住民等への情報提供手段の強化を推進するとともに、住民の防災意識の向上や防災教育の推進等を図る。			
【行政情報連絡体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
県・市・町・防災関係機関における情報伝達（再掲）	○	○	○
【住民等への情報伝達の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
住民等への情報伝達手段の多様化（再掲）	○	○	○
情報通信利用環境の強化（再掲）	○	○	○
障がい者等に対する避難情報伝達	○	○	○
外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災意識の啓発（再掲）	○	○	○
防災情報の入手に関する普及啓発	○	○	○
地区防災計画策定の推進（再掲）	○	○	○
【防災教育の推進・学校防災体制の確立】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災教育の推進	○	○	○
学校防災体制の確立	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止を防ぐため、支援物資等の供給体制の確保や水道施設・物流関連施設の防災対策の推進を図る。			
【支援物資供給体制の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
非常物資の備蓄	○	○	○
災害発生時の物流インフラの確保	○	○	○
石油燃料供給の確保	○	○	○
避難所等への燃料供給の確保	○	○	○
避難所における水等の確保	○	○	○
災害応援の受入体制の構築	○	○	○
救援物資等の受援体制の構築	○	○	○
要配慮者（難病疾患等）への医療的支援	○	○	○
災害用医薬品等の確保	○	○	○
【水道施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
水道施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○
応急給水資機材の整備	○	○	○
水道施設の応急対策	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備（再掲） ※県・事業者が主体の取組	○	○	○
【港湾・漁港の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
【食料生産体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
食料生産体制の強化	○	○	○
農業・水産施設の老朽化対策	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生を防ぐため、孤立するおそれのある集落への支援体制の構築や、代替え交通・輸送手段の確保、道路施設の防災対策を図る。			
【集落の孤立防止対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
集落の孤立防止対策	○	○	○
【孤立集落発生時の支援体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
孤立集落発生時の支援体制の確保	○	○	○
【代替交通・輸送手段の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
代替交通手段の確保（再掲）	○	○	○
代替輸送手段の確保	○	○	○
【防災ヘリコプターの運航の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災ヘリコプターの連携体制の確立 ※県が主体の取組	○	○	○
防災ヘリコプター等の活動の確保（再掲）※県が主体の取組	○	○	○
【情報通信の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
情報通信利用環境の強化（再掲）	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等により救助・救急活動等が実施できない事態			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
自衛隊、警察、海保等の被災により救助・救急活動等が実施できない事態を防ぐため、防災関連施設や公共施設の耐震化・老朽化対策の推進、防災関係機関の連携強化、災害応援・救援物資等の受入体制の確保、防災訓練の推進や自主防災組織の活性化による地域防災力の向上等を図る。			
【防災関連施設の耐震化・老朽化対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
役場庁舎、消防本部等の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
【災害対策本部等機能の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害対策本部機能の強化	○	○	○

【関係機関の連携強化・防災訓練の推進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害発生時の緊急消防援助隊の連携強化	○	○	○
防災航空隊への航空支援	○	○	○
医療従事者確保に係る連携体制	○	○	○
総合防災訓練の実施	○	○	○
図上訓練の実施	○	○	○
【救急・救助活動の体制強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
消防力の強化（再掲）	○	○	○
消防団の充実（再掲）	○	○	○
救急・救助活動等の体制強化	○	○	○
【支援物資等の供給体制の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害応援の受入体制の構築（再掲）	○	○	○
救援物資等の受援体制の構築（再掲）	○	○	○
【防災意識の啓発・地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災意識の啓発（再掲）	○	○	○
防災訓練の推進（再掲）	○	○	○
自主防災組織の設立・活性化支援（再掲）	○	○	○
地区防災計画策定の推進（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-4 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶を防ぐため、緊急車両・病院・防災ヘリに対する燃料供給の確保、緊急輸送道路等の機能強化・老朽化対策、道路施設の防災対策の推進を図る。			
【緊急車両・災害拠点病院に対する燃料の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
石油燃料供給の確保（再掲）	○	○	○
緊急車両等への燃料供給の確保	○	○	○
医療施設の燃料等確保	○	○	○
【防災ヘリ・ドクターヘリの燃料の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災ヘリコプターの燃料確保 ※県が主体の取組	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-5 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者（県外からの来訪客等）への水・食料等の供給不足			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食料等の供給が不足する事態を防ぐため、帰宅困難者の避難・輸送体制の強化、支援物資等の供給体制の確保を図る。			
【帰宅困難者の避難体制の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
観光客の避難体制の強化 ※県が主体の取組	—	—	○
観光客等に対する広域避難の強化	○	○	○
【支援物資等の供給体制の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
非常物資の備蓄（再掲）	○	○	○
応急給水資機材の整備（再掲）	○	○	○
災害応援の受入体制の構築（再掲）	○	○	○
救援物資等の受援体制の構築（再掲）	○	○	○
【情報伝達の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化（再掲）	○	○	○
交通規制等の交通情報提供 ※県が主体の取組	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-6 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶等による医療機能の麻痺を防ぐため、病院施設や社会福祉施設等の耐震化を推進、災害発生時における医療提供体制の構築や要配慮者への支援体制の強化及び道路施設の防災対策の推進を図る。			
【病院・福祉施設等の耐震化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
病院施設の耐震化（再掲）	○	○	○
社会福祉施設等の耐震化（再掲）	○	○	○
【災害発生時における医療提供体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害時医療の連携体制	○	○	○
医療従事者確保に係る連携体制（再掲）	○	○	○
お薬手帳の利用啓発	○	○	○
【防災ヘリコプターの運行の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災ヘリコプターの連携体制の確立（再掲） 県が主体の取組	○	○	○

【避難者の健康対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難所外避難者の対策	○	○	○
長期間にわたる避難生活対策	○	○	○
【要配慮者等への支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
要配慮者等への支援	○	○	○
男女のニーズの違いに配慮した支援	○	○	○
心のケア体制の確保	○	○	○
児童生徒の心のサポート	○	○	○
外国人観光客等に対する防災情報提供体制の強化（再掲）	○	○	○
動物救護対策	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること			
リスクシナリオ			
2-7 被災地における疫病・感染症等の大規模発生			
リスクシナリオを回避するための対応方針の概要			
被災地における疫病・感染症等の大規模発生を防ぐため、避難所における新型コロナ対策を含む感染症対策、下水道施設の機能確保等を推進する。			
【感染症対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
避難所における衛生環境の維持	○	○	○
避難所における新型コロナ対策	○	○	○
感染症への意識向上及び対応策の整備	○	○	○
予防接種の促進	○	○	○
【下水道施設の機能確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
下水道施設の耐震化・老朽化対策	○	○	○
農業・漁業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策	○	○	○
下水道事業の業務継続計画の策定	○	○	○

事前に備えるべき目標			
3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること			
リスクシナリオ			
3-1 行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
行政機関の職員・施設等の被災による行政機能の大幅な低下を防ぐため、防災関連施設・公共施設・インフラ施設等の耐震化・老朽化対策、庁舎等における機能の確保、行政情報通信基盤の耐災害性の強化、行政機関の業務継続計画の策定、受援・連携体制の構築等を図る。			
【災害対応庁舎等における機能の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
役場庁舎、消防本部等の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
代替庁舎の確保・災害警備本部機能の移転訓練	○	○	○
行政施設の非常用電源の整備	○	○	○
【行政情報通信基盤の耐災害性の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
県・市・町・防災関係機関における情報伝達（再掲）	○	○	○
行政情報通信基盤の耐災害性の強化	○	○	○
行政情報の災害対策	○	○	○
業務継続計画の策定	○	○	○
【災害対策本部等機能の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害対策本部機能の強化（再掲）	○	○	○
【受援・連携体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
広域連携体制の構築	○	○	○
災害応援の受入体制の構築（再掲）	○	○	○
【総合防災訓練の推進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
総合防災訓練の実施（再掲）	○	○	○
図上訓練の実施（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること			
リスクシナリオ			
3-2 信号機の全面停止による重大交通事故の多発			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
信号機の全面停止等による重大交通事故の多発を防ぐため、信号機の老朽化対策や非常用電源対策、交通整理体制の構築を図る。(警察本部主体の取組)			
【災害に備えた道路交通環境の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害発生時の交通整理体制の構築 ※警察本部主体の取組	○	○	○
信号機の非常用電源対策 ※警察本部主体の取組	○	○	○
信号機の老朽化対策 ※警察本部主体の取組	○	○	○

事前に備えるべき目標			
3 必要不可欠な行政機能と情報通信機能を確保すること			
リスクシナリオ			
3-3 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止を防ぐため、情報通信基盤の耐災害性の強化や電力の供給停止対策の整備等を図る。			
【情報通信基盤の耐災害性の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
電気通信事業者・放送事業者の災害対策	○	○	○
県・市・町・防災関係機関における情報伝達（再掲）	○	○	○
総合防災訓練の実施（再掲）	○	○	○
【電力の供給停止対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
エネルギー供給事業者の災害対策	○	○	○
行政施設の非常用電源の整備（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと			
リスクシナリオ			
4-1 サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
サプライチェーンの寸断等による経済活動の停滞を防ぐため、企業におけるBCP計画作成の促進や物流機能の確保、道路施設・港湾漁港施設の防災対策の推進を図る。			
【企業における業務継続体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
企業の業務継続計画作成の促進	○	○	○
【農林水産物の移出・流通対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農林水産物の移出・流通対策	○	○	○
【物流機能の維持・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害発生時の物流機能の確保	○	○	○
輸送ルートの変換性の確保	○	○	○
【被災企業の金融支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
被災企業への金融支援等	○	○	○
【人材育成を通じた産業の体質強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
人材育成を通じた産業の体質強化 ※県が主体の取組	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備（再掲） ※県・事業者が主体の取組	○	○	○
【港湾・漁港の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと			
リスクシナリオ			
4-2 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止を防ぐため、電力・ガス事業者との連携強化や石油燃料供給体制の構築、道路施設の防災対策の推進を図る。			
【電力の供給停止対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
エネルギー供給事業者の災害対策（再掲）	○	○	○
【エネルギー供給体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
石油燃料供給の確保（再掲）	○	○	○
【企業における業務継続体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
企業の業務継続計画作成の促進（再掲）	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと			
リスクシナリオ			
4-3 基幹的交通ネットワーク（陸上・海上）の機能停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
基幹的交通ネットワークの機能停止を防ぐため、道路、鉄道、港湾・漁港施設の防災対策の強化を図るとともに、一般国道101号柏浮田道路の早期完成が図られるよう関係機関へ協力する。			
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○
幹線街路の整備（再掲）	○	○	○
【基幹的道路交通ネットワークの形成】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
基幹的道路交通ネットワークの形成 ※国・県が主体の取組	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備（再掲） ※県・事業者が主体の取組	○	○	○

【港湾・漁港の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
港湾・漁港施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
4 経済活動を機能不全に陥らせないこと			
リスクシナリオ			
4-4 食料等の安定供給の停滞			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
食料等の安定供給の停滞を防ぐため、食糧流通機能の維持・確保や地元食料品の生産・供給体制の強化を推進する。			
【被災農林漁業者の金融支援】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
被災農林漁業者への金融支援	○	○	○
【食糧流通機能の維持・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
食料市場の早期復旧体制の構築	○	○	○
【荒廃農地の発生防止・利用促進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農作物生産に必要な施設・機械等の整備対策	○	○	○
【県産食料品の生産・供給体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
食料生産体制の強化（再掲）	○	○	○
多様なニーズに対応した県産品づくり	○	○	○
県産食料品の供給を支える人づくり	○	○	○
食料品製造業者の供給体制強化	○	○	○
農業・水産施設の老朽化対策（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること			
リスクシナリオ			
5-1 電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
電気・石油・ガス等のエネルギー供給機能の長期停止を防ぐため、エネルギー供給事業者の災害対策や石油製品の安定供給体制の構築を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入促進等を図る。			
【エネルギー供給体制の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
エネルギー供給事業者の災害対策（再掲）	○	○	○
ガス供給施設の老朽化対策 ※事業者が主体の取組	○	—	—
避難所等への燃料供給の確保（再掲）	○	○	○
企業の業務継続計画作成の促進（再掲）	○	○	○
石油燃料供給の確保（再掲）	○	○	○

【再生可能エネルギーの導入促進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
再生可能エネルギーの導入	○	○	○
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること			
リスクシナリオ			
5-2 上水道等の長期間にわたる機能停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
上水道等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、水道施設等の耐震化・老朽化対策や、応急復旧・給水体制の整備等を図る。			
【水道施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
水道施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
水道施設の応急対策（再掲）	○	○	○
水道事業者の業務継続計画の策定	○	○	○

事前に備えるべき目標			
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること			
リスクシナリオ			
5-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止を防ぐため、下水道施設や農業・漁業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策の推進や、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の促進を図る。			
【下水道施設の機能確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
下水道施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
下水道事業の業務継続計画の策定（再掲）	○	○	○
農業・漁業集落排水施設等の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
農業・漁業集落排水施設等の耐災害性の確保	○	○	○
避難所等におけるトイレ機能の確保	○	○	○
【合併処理浄化槽への転換の促進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
合併処理浄化槽への転換の促進	○	○	○

事前に備えるべき目標			
5 必要最低限のライフライン等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること			
リスクシナリオ			
5-4 地域交通ネットワークが分断する事態			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
地域交通ネットワークが分断する事態を防ぐため、道路施設や鉄道施設の防災対策を推進するとともに、圏域自治体の連携した取組による地域公共交通の確保を図る。			
【道路施設の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）	○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）	○	○	○
【公共交通・広域交通の機能確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害時における公共交通の安定供給の確保	○	○	○
地域公共交通の確保	○	○	○
広域交通の確保（鉄道）	○	○	○
【鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道施設の耐災害性の確保・体制の整備（再掲）	○	○	○
※県・事業者が主体の取組			

事前に備えるべき目標			
6 重大な二次災害を発生させないこと			
リスクシナリオ			
6-1 ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
ため池、ダム、防災施設、天然ダム等の損壊・機能不全による二次災害の発生を防ぐため、ダム施設、防災施設等の老朽化対策等の推進や、ため池ハザードマップの作成による浸水想定区域の周知、河道閉塞（天然ダム）が発生した場合の連絡体制の強化を図る。			
【ため池、ダム等の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
ため池・調整池施設の耐震化・老朽化対策（再掲）	○	○	○
ため池・調整池の防災対策（再掲）	○	○	○
ため池ハザードマップの作成	○	○	○
【防災施設の機能維持】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
砂防関係施設の整備（再掲）	○	○	○
砂防関係施設の老朽化対策（再掲）	○	○	○
農山村地域における防災対策（再掲）	○	○	○
河道閉塞等による住民避難のための情報提供	○	○	○

事前に備えるべき目標			
6 重大な二次災害を発生させないこと			
リスクシナリオ			
6-2 有害物質の大規模流出・拡散			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
有害物質の大規模流出・拡散を防ぐため、有害物質取扱事業所等に対する監視・検査指導等を通じた流出・拡散防止対策の推進や、坑廃水処理関係施設の稼働の確保、有害物質流出時の処理体制の構築を図る。			
【有害物質の流出・拡散防止対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
有害物質の流出・拡散防止対策 ※消防本部・事業者が主体の取組	○	—	—
大気中への有害物質の飛散防止対策	○	○	○
【有害物質流出時の処理体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
有害物質流出時の処理体制の構築	○	○	○
有害物質の大規模流出・拡散対応	○	○	○
【坑廃水処理関係施設の稼働の継続】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
坑廃水処理関係施設の稼働の継続 ※県が主体の取組	—	—	○

事前に備えるべき目標			
6 重大な二次災害を発生させないこと			
リスクシナリオ			
6-3 農地・森林等の荒廃による被害の拡大			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
農地・森林等の荒廃による被害の拡大を防ぐため、荒廃農地の発生防止・利用促進や森林資源の適切な保全管理を推進するとともに、砂防・治山施設等の老朽化対策等を実施する。			
【荒廃農地の発生防止・利用促進】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農地利用の最適化支援	○	○	○
農地の生産基盤の整備推進	○	○	○
農作物生産に必要な施設・機械等の整備対策（再掲）	○	○	○
【森林資源の適切な保全管理】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
森林の計画的な保全管理	○	○	○
森林整備事業等の森林所有者への普及啓発	○	○	○
【農山村地域における防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農山村地域における防災対策（再掲）	○	○	○
【農林水産業の生産基盤の防災対策】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農業・水産施設の老朽化対策（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
6 重大な二次災害を発生させないこと			
リスクシナリオ			
6-4 風評被害等による地域経済等への甚大な影響			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
風評被害等による地域経済等への甚大な影響の発生を防ぐため、平時より県産品に関する正確な情報を発信する体制の整備や、安全・安心な生産・流通システムの構築等を図る。			
【風評被害の発生防止】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
正確な情報発信による風評被害の防止	○	○	○
安全・安心な生産・流通システムの構築	○	○	○
風評被害の軽減対策	○	○	○

事前に備えるべき目標			
7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること			
リスクシナリオ			
7-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、災害廃棄物処理計画の策定や、関係機関・団体との連携強化等による処理体制の構築を図る。			
【災害廃棄物の処理体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害廃棄物処理計画の策定	○	○	○
災害廃棄物等の処理に関する連携の強化	○	○	○
家庭系災害廃棄物の収集・運搬対策	○	○	○
農林水産業に係る災害廃棄物等の処理に関する連携の強化	○	○	○
大気中への有害物質の飛散防止対策（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標			
7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること			
リスクシナリオ			
7-2 道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
道路啓開等の復旧・復興を担う人材等の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、受援・連携体制の構築を図るとともに、建設業・農林水産業の担い手の育成・確保や産業を支える人材の育成等を図る。			
【防災ボランティア受入体制の構築】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
防災ボランティア受入体制の構築	○	○	○
防災ボランティアの育成	○	○	○

【技術職員等の確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
災害応援の受入体制の構築（再掲）	○	○	○
【農林水産業の担い手の育成・確保】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
農業の担い手育成・確保	○	○	○
林業の担い手育成・確保	○	○	○
水産業の担い手育成・確保	○	○	○
【地域防災力の向上】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
自主防災組織の設立・活性化支援（再掲）	○	○	○
消防力の強化（再掲）	○	○	○
消防団の充実（再掲）	○	○	○
【防災人材育成】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
被害認定調査等の体制確保	○	○	○
	※県が主体の取組		○

リスクシナリオ			
7-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態			
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要			
<p>地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、応急仮設住宅を迅速に供給する体制を確保するとともに、地域コミュニティ・農山漁村の活性化や消防団の充実等を図る。</p>			
【応急仮設住宅の確保等】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
応急仮設住宅の迅速な供給	○	○	○
【地域コミュニティ力の強化】	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
地域防災力の向上・コミュニティ再生	○	○	○
地域コミュニティ力の強化	○	○	○
農山漁村の活性化	○	○	○
地域コミュニティを牽引する人材の育成	○	○	○
地域を支えるリーダーの育成	○	○	○
	※県が主体の取組		○
消防団の充実（再掲）	○	○	○

事前に備えるべき目標				
7 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること				
リスクシナリオ				
7-4 鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態				
リスクシナリオを回避するための対応方策の概要				
鉄道・幹線道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態を防ぐため、鉄道事業者との連携や、道路施設の防災対策、代替交通手段の確保等の整備を推進する。				
【鉄道の運行確保】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
鉄道事業者との連携による早期復旧 ※県が主体の取組		○	○	○
鉄道の災害対策 ※県が主体の取組		○	○	○
【道路施設の防災対策】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策（再掲）		○	○	○
緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策（再掲）		○	○	○
市・町管理農道・林道の機能保全・老朽化対策（再掲）		○	○	○
道路における障害物の除去（再掲）		○	○	○
【基幹的道路交通ネットワークの形成】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
基幹的道路交通ネットワークの形成（再掲） ※国・県が主体の取組		○	○	○
【代替交通・輸送手段の確保】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
代替交通手段の確保（再掲）		○	○	○
代替輸送手段の確保（再掲）		○	○	○
【物流機能の維持・確保】		つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町
輸送ルート of 代替性の確保（再掲）		○	○	○

2 連携項目

圏域全体の国土強靱化の推進に向け、3市町が取り組みを検討する連携項目は以下のとおりである。

連携項目	概要	該当するシナリオ
五所川原圏域空き家バンク事業	五所川原市、中泊町、鶴田町を含む「五所川原圏域定住自立圏」における移住・定住や、空き家の適正管理の促進を図る。	1-1
福祉避難所の設置及び圏域での相互利用	民間福祉施設の福祉避難所(障がい者や高齢者など、災害発生時に特に配慮を必要とする方々を受け入れ対象とした避難所)への指定を促進し、圏域での相互利用体制を構築する。	1-1、1-2、1-3 1-4
道路における障害物の除去	大規模災害により市・町が管理する道路が損壊した場合、3市町が連携して道路啓開を実施するため、連携体制を構築する。	2-1、2-4、2-6 4-1、4-2、4-3 5-1、5-4
水道事業者による災害訓練等の共同開催	発災時の対応の平準化と円滑化の向上を目的に、資機材の情報共有やマニュアルの検討、合同訓練を実施する。	2-1、2-5、5-2
孤立集落発生時の支援体制の確保	中山間地域や沿岸地域において、災害による孤立集落が発生した場合、3市町が連携して物資の供給やライフラインの確保を実施する。	2-2

3 重点項目

限られた資源・財源の中で、国土強靱化の取組を効率的・効果的に推進するためには、優先度の高い施策・事業に重点化を図る必要がある。

本計画では、人命保護に直接関わる施策・事業を中心に、他のリスクシナリオへの影響や効果、緊急性、自助・共助の推進といった観点から優先度を総合的に判断し、各市町において重点項目を選定した。

各市町に共通する主な重点項目は以下のとおりである。

なお、市町毎の重点項目は、別紙「付属資料」にとりまとめている。

各市町に共通する主な重点項目
<ul style="list-style-type: none">○住宅の耐震化・老朽化対策○公営住宅の耐震化・老朽化対策○社会福祉施設等の耐震化○公立学校施設等の耐震化・老朽化対策○ブロック塀等の安全対策○学校施設等の非構造部材の耐震化○公共建築物・インフラ施設の耐震化・老朽化対策○役場庁舎、消防本部等の耐震化・老朽化対策○幹線街路の整備○緊急輸送道路の機能強化・老朽化対策○緊急輸送道路以外の道路の機能強化・老朽化対策○空き家対策○防火対策○消防力の強化○洪水ハザードマップの作成○情報通信利用環境の強化○防雪施設の整備○除排雪体制の強化○冬季の防災意識の啓発○防災教育の推進○学校防災体制の確立○災害発生時の物流インフラの確保○集落の孤立防止対策○医療従事者確保に係る連携体制○感染症への意識向上及び対応策の整備○予防接種の促進

第6章 計画の推進

1 計画の推進

西つがる圏域3市町の国土強靱化に当たっては、行政の取組だけでなく、住民・事業者と連携した取組が必要であり、地域社会が一丸となって取り組んでいく必要がある。

平時から様々な取組を通じた関係構築を進めていくとともに、効果的な施策・事業の実施に努めていく。

2 計画の進捗管理

本計画に基づく取組を確実に推進するために、①Plan ②Do ③Check ④Actionの流れを基本としたPDCAサイクルにより関連施策・事業の進捗状況を毎年把握し、計画全体の見直し・改善を図っていくものとする。

また、関連施策・事業の進捗状況や各種取組結果などを踏まえ、見直しや改善、必要となる予算の確保などを行いながら進めていく。さらに、西つがる3市町だけでは対応できない事項については、国・県・関係機関などへの働きかけや連携を通じ、施策・事業の推進を図っていく。

3 計画の見直し

本計画については、今後の社会情勢の大きな変化や考慮すべき自然災害リスクの変化、国や県などの強靱化に関する施策の取組状況、西つがる圏域3市町それぞれの進捗状況などを考慮しつつ、計画期間中であっても必要に応じて見直しを行うものとする。

なお、本計画は、他の分野別計画における国土強靱化に関する指針として位置付けているものであることから、国土強靱化に関係する他の計画については、それぞれの計画の見直しや改定等の時期に合わせて必要となる検討を行い、本計画との整合を図るものとする。

西つがる国土強靱化地域計画

令和3年3月

つがる市 総務部 総務課 交通防災係

〒038-3192 青森県つがる市木造若緑 61-1

TEL:0173-42-2111 FAX:0173-42-3069

鱒ヶ沢町 総務課 防災班

〒038-2792 青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字本町 209-2

TEL:0173-72-2111 FAX:0173-72-2374

深浦町 総務課 消防防災係

〒038-2324 青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢 84-2

TEL:0173-74-2111 FAX:0173-74-4415